

2020年6月24日

## 東急建設株主総会 質問

上郷開発は、鎌倉市に接する横浜市栄区の宅地造成工事で、10万㎡の良好な緑地や神奈川県唯一の製鉄遺跡を破壊し、温暖化、人口減少社会に反する開発です。

- 1 ESG（環境・社会・企業統治）の観点**が薄い企業は、大きなリスクを抱えた企業であり長期的な成長ができない企業**という事で、**世界の投資家は投資しません**。上郷開発は、ESGを軽視し東急グループの評判を落とす開発と考えますが社長の見解を伺います。

回答・ESGと言うよりSDGsに基づいて環境保全に努めている。  
・経営方針に環境保全に配慮することを掲げている。

- 2 上郷開発は、環境で最も必要とされている緑地を10万平米も破壊し人口減少で必要のない宅地を造成する事業で、**地球温暖化、気候変動、豪雨災害等の対策に逆行**していますが社長はどのように考えていますか？

回答・環境問題は、個人の権利と開発と保全のバランスを考慮している。  
・開発しなければ自然環境は前より悪くなる。  
・開発は横浜市の方針に基づいたものである。

- 3 現執行役員の**今井氏**は、港南台取付け道路の風害問題について平成20年8月の自治会との会議で、横浜市の上郷開発計画却下を踏まえて風速変化調査地点が**切通し部分から20m程左右に離れていて不適切だったことを認めました**。東急建設は、現在その不正データを基に許可を得ようとしています。風害事故が発生した場合の責任を取れますか？責任が取れないのであれば計画を凍結して下さい。

回答・第三者委員会で承認されたもので問題はない。

- 4 上郷開発は、高さ14mの谷を埋める計画ですが、埋め立て地は、深田谷戸と呼ばれ200万年前の地層から広範囲に湧水が染み出す湿地帯であり、環境アセスで専門家から地下水益化の指摘がありました。深田谷戸の地下水益化は、実施設計の中で圧密工法等の解決策を提案するとの回答でしたが、**広範囲の湧水による軟弱地盤は圧密工法では解決できません**。東急建設は、有効な解決策が無ければ、上郷開発の凍結を検討して下さい。

回答・環境アセスメントで承認されている  
・詳細は行政との協議で詰めているところである。

- 5 上郷開発区域の土地は、住友信託銀行が平成13年不良資産として償却した後に東急建設が権利を取得した経緯から、市場価格より低価格の筈である。現在の資産計上額を教えてください。

回答・資産計上額は答えられない。